

## I 調査の概要及び回答者の属性

# 1 調査の概要

## (1) 調査目的

本調査は、「第5次阿久比町総合計画」の策定にあたって、今後期待するまちづくりの方向、各分野における現状評価や施策要望など、住民の意識構造の実態を把握するとともに、ベンチマーク（成果指標）を導入した計画づくりを行うにあたって、現状数値の把握を目的に実施した。

## (2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	20歳以上の町内に居住する男女
抽出法	無作為抽出（住民基本台帳より抽出）
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
調査時期	平成21年6月
調査地域	町内全域。ただし、分析上は地域的傾向を把握するため、以下の4小学校区に区分した。 ①東部小学校区 ②英比小学校区 ③草木小学校区 ④南部小学校区

## (3) 配布数及び回収結果

配布数	2,000
有効回収数	1,169
有効回収率	58.5%

#### (4) 本調査結果報告書の留意点

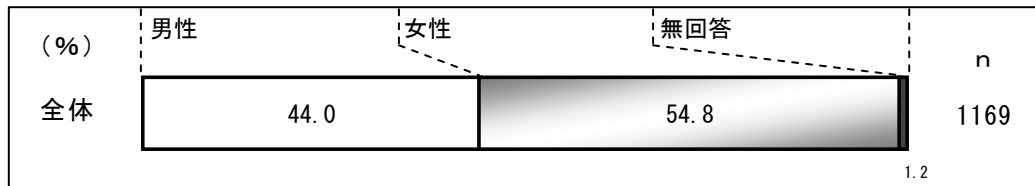
本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

- 比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- 基数となるべき実数は、“回答数=〇〇〇”として掲載し、各比率は回答数を100%として算出した。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化している。
- 問の中には「～に○をつけた方にうかがいます。」などいろいろな制限があり、また、属性別での職業別など回答者数が少なく、有意性の低いものも含まれる。

## 2 回答者の属性

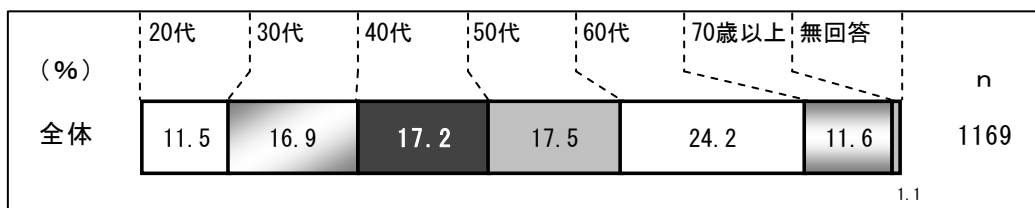
### (1) 性別

回答者の性別は、「女性」が54.8%、「男性」が44.0%となっている。



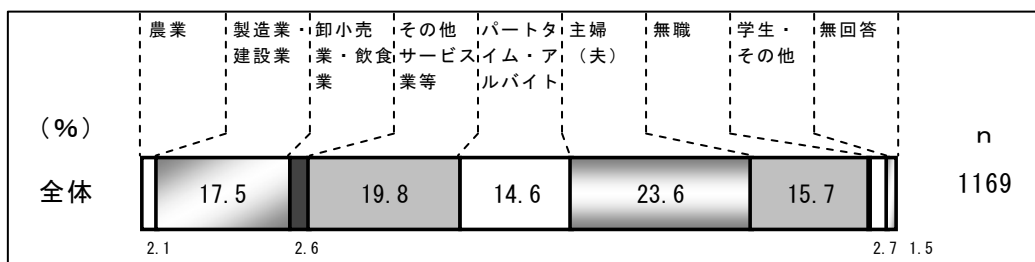
### (2) 年齢

回答者の年齢は、「60代」が24.2%で最も多く、次いで「50代」(17.5%)、「40代」(17.2%)、「30代」(16.9%)、「70歳以上」(11.6%)、「20代」(11.5%)の順となっている。



### (3) 職業

回答者の職業は、「主婦(夫)」が23.6%で最も多く、次いで「その他サービス業等」(19.8%)、「パートタイム・アルバイト」(14.6%)、「無職」(15.7%)、「製造業・建設業」(17.5%)、「学生・その他」(2.7%)、「卸小売業・飲食業」(2.6%)、「農業」(2.1%)の順となっている。



#### (4) 家族構成

回答者の家族構成は、3歳児未満の乳幼児については、「いない」が69.5%、「いる」が8.1%となっている。

幼稚園児・保育園児については、「いない」が68.3%、「いる」が8.7%となっている。

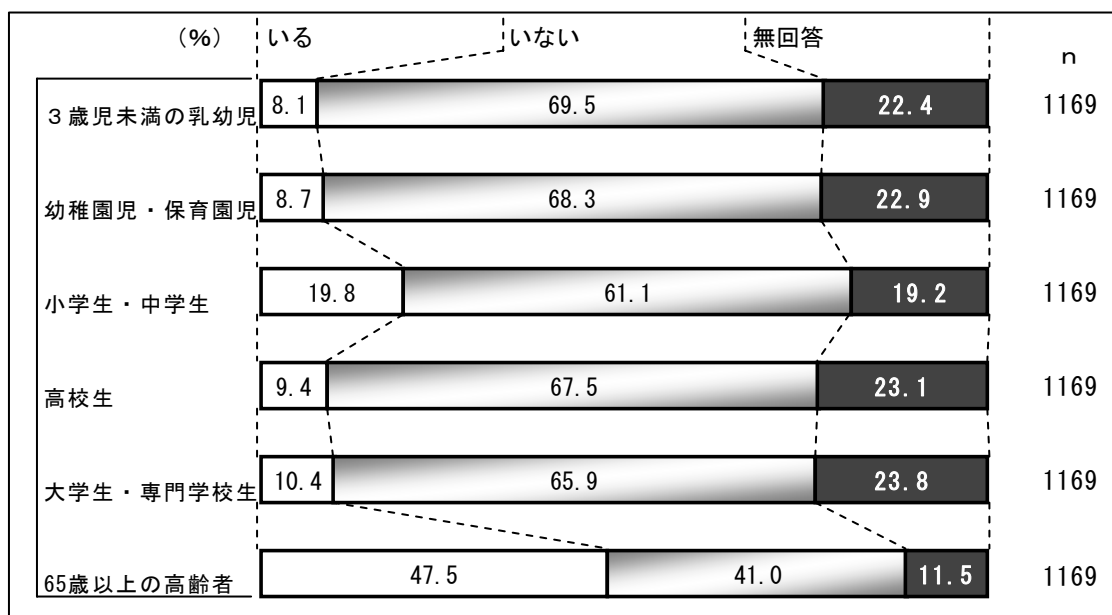
小学生・中学生については、「いない」が61.1%、「いる」が19.8%となっている。

高校生については、「いない」が67.5%、「いる」が9.4%となっている。

大学生・専門学校生については、「いない」が65.9%、「いる」が10.4%となっている。

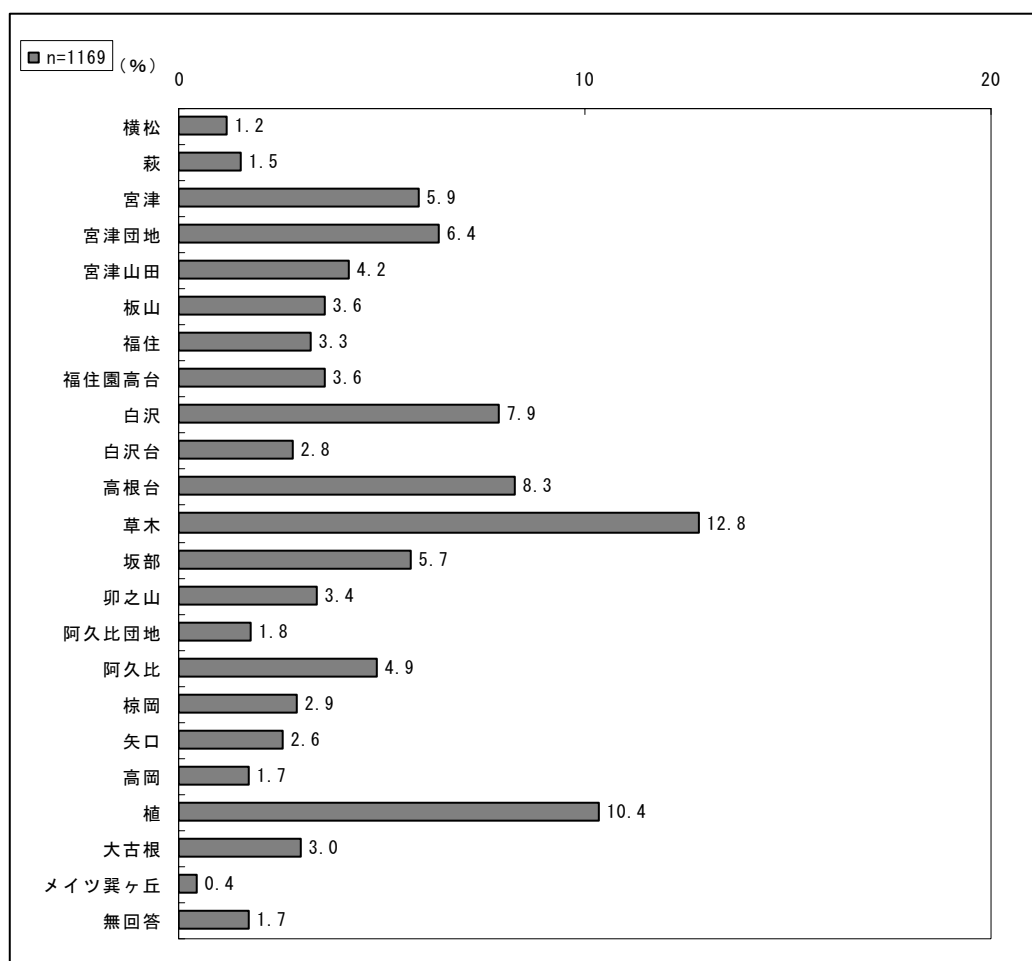
65歳以上の高齢者については、「いる」が47.5%、「いない」が41.0%となっている。

	(家族構成／%)	
	いる	いない
3歳児未満の乳幼児	8.1	69.5
幼稚園児・保育園児	8.7	68.3
小学生・中学生	19.8	61.1
高校生	9.4	67.5
大学生・専門学校生	10.4	65.9
65歳以上の高齢者	47.5	41.0



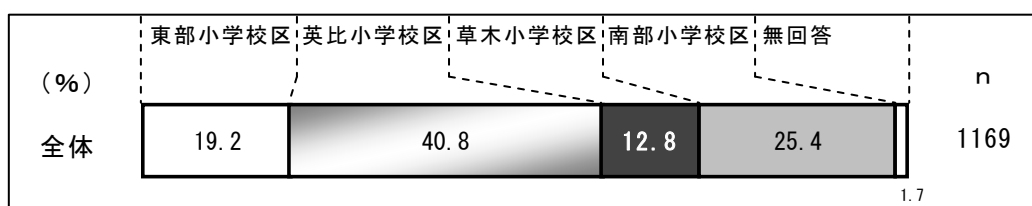
## (5) 居住地

回答者の居住地は、「草木」が12.8%と最も多く、次いで、「植」(10.4%)、「高根台」(8.3%)、「白沢」(7.9%)、「宮津団地」(6.4%)、「宮津」(5.9%)、「坂部」(5.7%)、「阿久比」(4.9%)、「宮津山田」(4.2%)、「板山」(3.6%)、「福住園高台」(3.6%)、「卯之山」(3.4%)、「福住」(3.3%)、「大古根」(3.0%)、「棕岡」(2.9%)、「白沢台」(2.8%)、「矢口」(2.6%)、「阿久比団地」(1.8%)、「高岡」(1.7%)、「萩」(1.5%)、「横松」(1.2%)、「メイツ巽ヶ丘」(0.4%)の順となっている。



## (6) 居住地区

回答者の居住地区は、「英比小学校区」が40.8%で最も多く、次いで「南部小学校区」(25.4%)、「東部小学校区」(19.2%)、「草木小学校区」(12.8%)の順となっている。



## (7) 居住歴

回答者の居住歴は、「県内他市町村から転入してきた」が49.9%と最も多く、次いで、「生まれてからずっと住んでいる」(19.2%)、「県外から転入してきた」(17.1%)、「町以外での居住経験がある」(12.5%)の順となっている。また、阿久比町の“出身者”(「生まれてからずっと住んでいる」及び「町以外での居住経験がある」の合計)は31.7%、“転入者”(「県内他市町村から転入してきた」及び「県外から転入してきた」の合計)は67.0%となっている。

